

# 東京外かく環状道路 大泉北地区仮設構造物設計

## 参 考 図

令和 8 年 1 月

東日本高速道路株式会社 関東支社  
東京外環工事事務所

# 図 面 目 次

図面番号	図 面 名 称
1	環境関係調査（騒音予測計算）
2	連絡等施設設計（用排水設計）
3	附帯工設計（工事用道路設計）
4	附帯工設計（遮音壁設計）
5	構造物設計（近接影響検討・施工計画及び仮設構造物設計）
6	工事発注用図面作成及び数量表作成

## 環境関係調査（騒音予測計算）

## &lt;騒音予測計算箇所&gt;

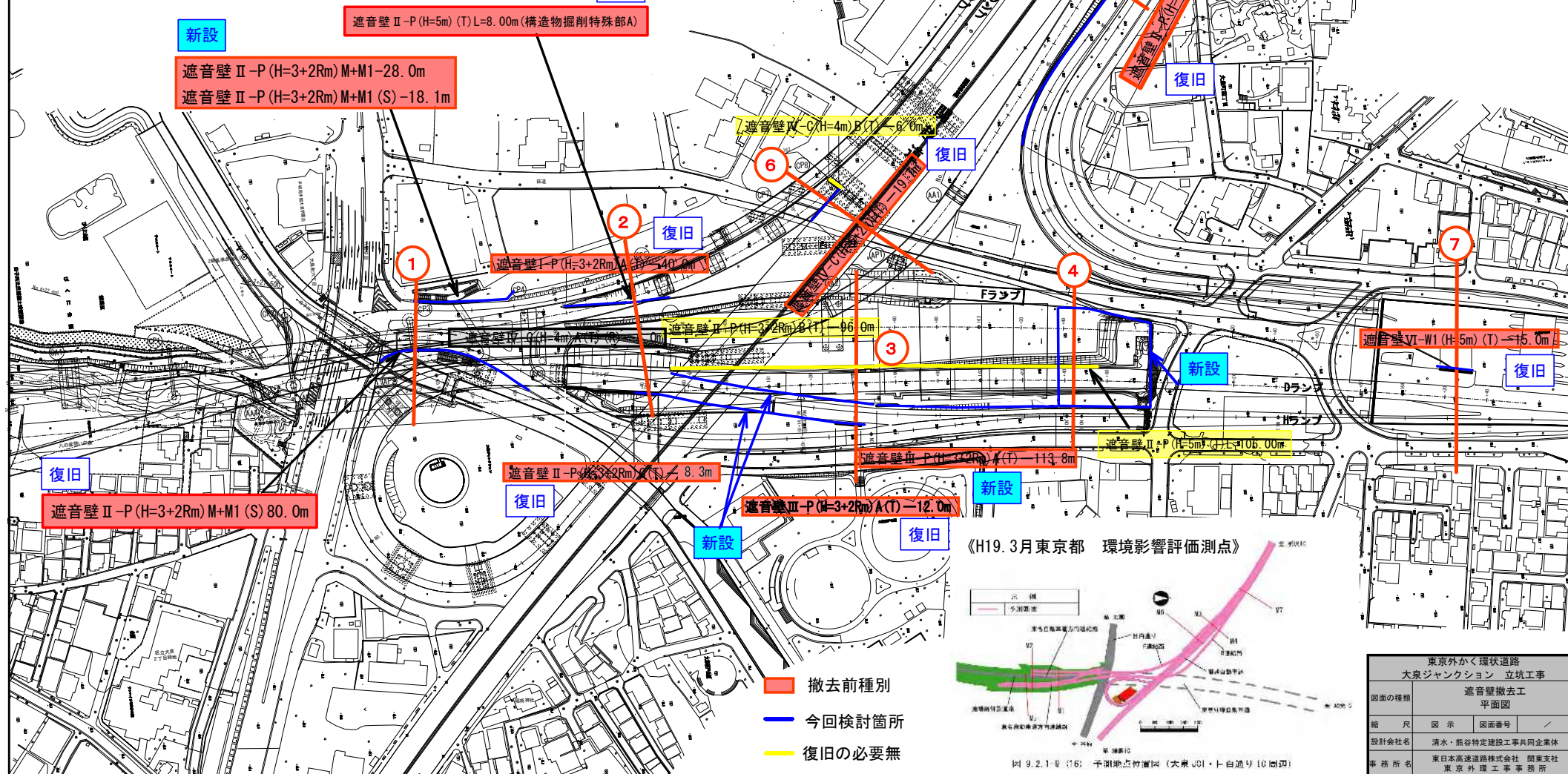
- ①大泉IC入口部
- ②IFランプハードノーズ部・Dランプ
- ③シールド発進立坑部
- ④1連1層と既設U型擁壁接続部
- ⑤Bランプ部
- ⑥Cランプ橋間越接続部
- ⑦大泉料金所右側

- 受注後別途交通運用検討データを提供する
- 騒音予測は昼夜それぞれで行う
- 上記各断面に対してJCTランプという複合的な断面を考慮した上で必要な予測計算計画、予測位置の検討および予測計算を行う
- 遮音壁がある場合と無い場合とでそれぞれ各基準値との比較検討を行うものとする

新設：4箇所 ⇒ 詳細設計

復旧：8箇所 ⇒ 騒音予測計算により詳細設計または図面修正を追加予定

復旧



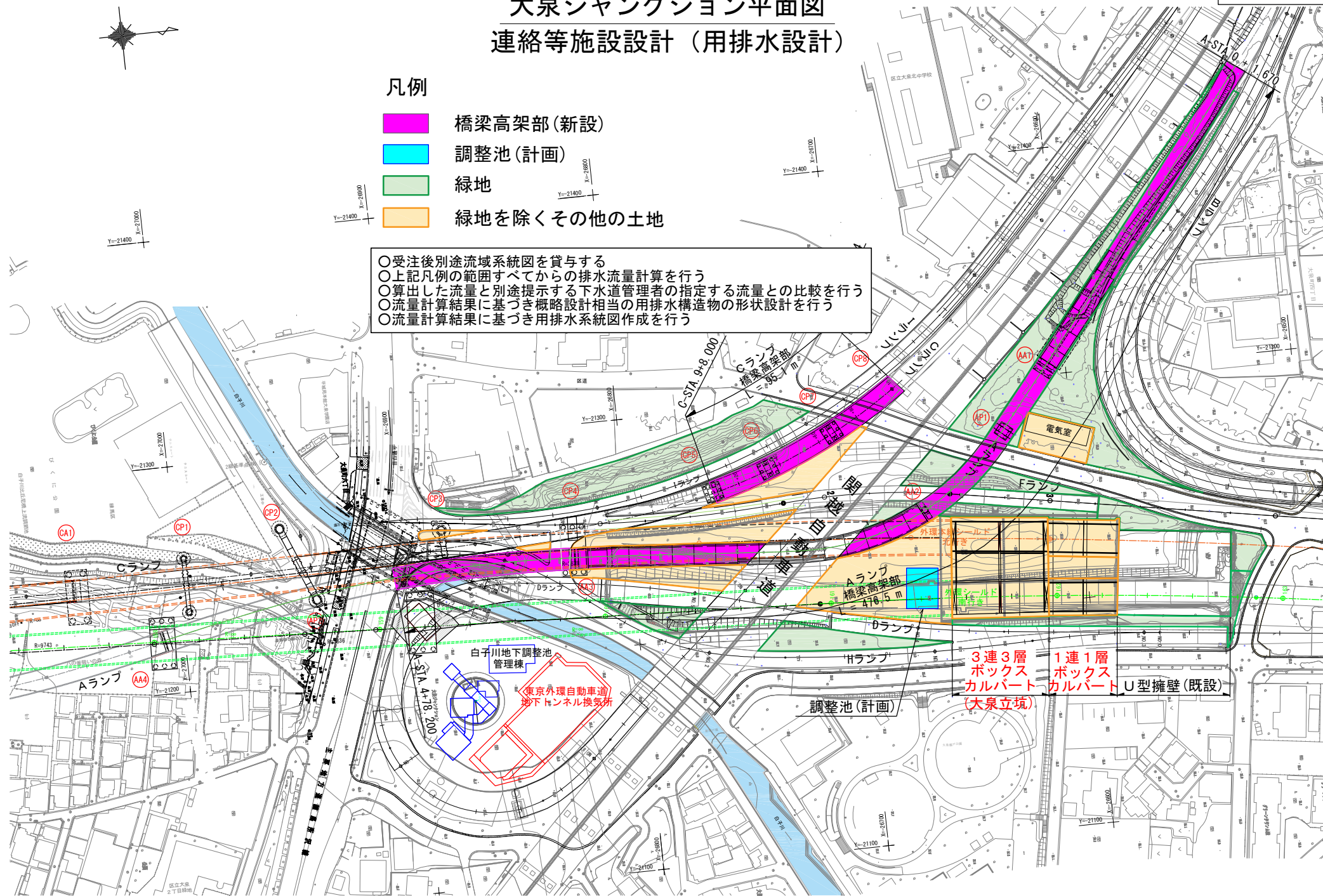


# 大泉ジャンクション平面図 連絡等施設設計（用排水設計）

## 凡例

- 橋梁高架部（新設）
- 調整池（計画）
- 緑地
- 緑地を除くその他の土地

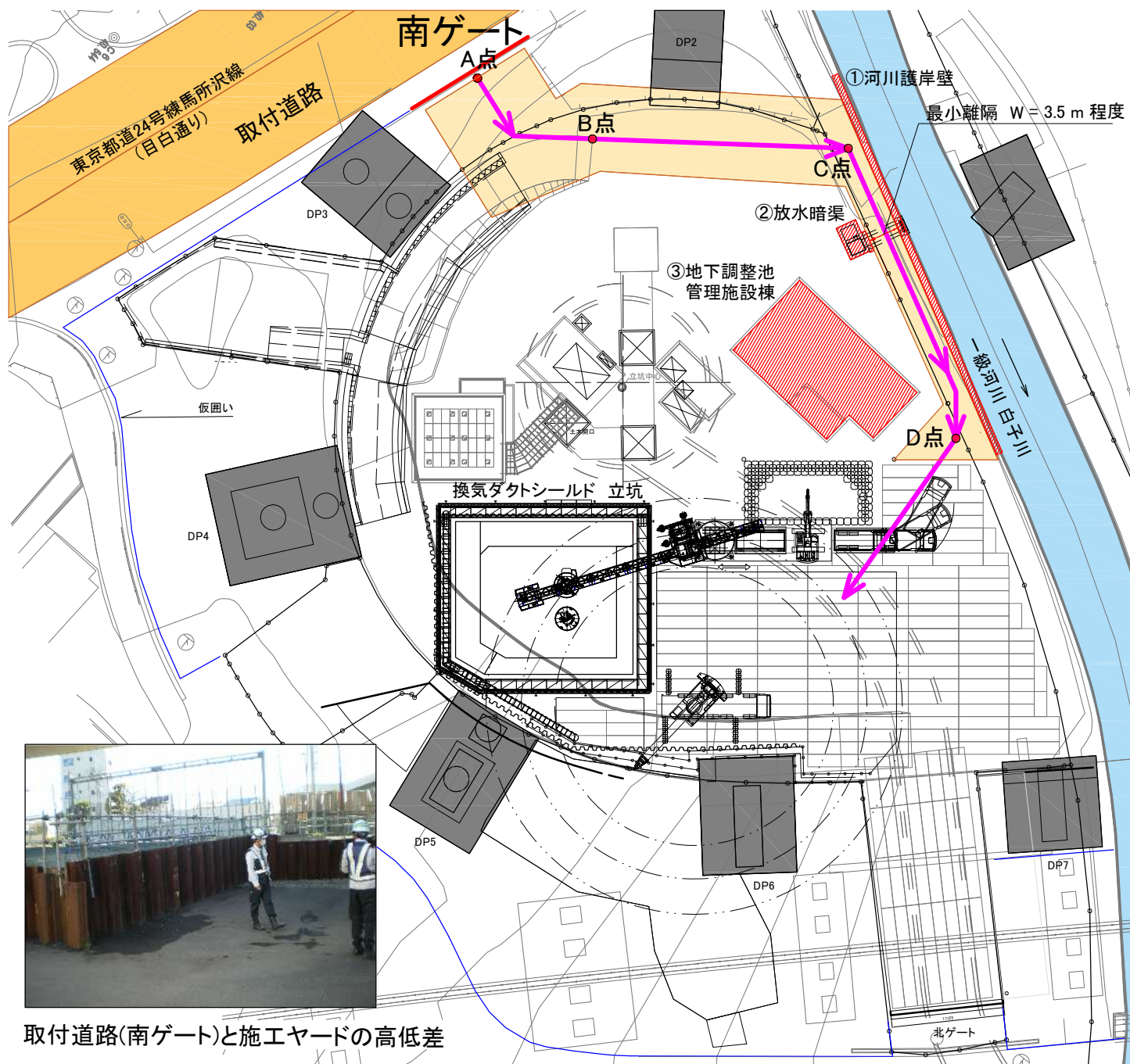
- 受注後別途流域系統図を貸与する  
○上記凡例の範囲すべてからの排水流量計算を行う  
○算出した流量と別途提示する下水道管理者の指定する流量との比較を行う  
○流量計算結果に基づき概略設計相当の用排水構造物の形状設計を行う  
○流量計算結果に基づき用排水系統図作成を行う





工事用道路軸線  $L = 0.11 \text{ km}$

## 附帯工設計（工事用道路設計）



コントロールポイント

現地盤の高低差

A点 ~ B点 約 1.8 m (未舗装)

B点 ~ C点 LEVEL (仮舗装)

C点 ~ D点 LEVEL (未舗装)

①河川護岸壁



②放水暗渠

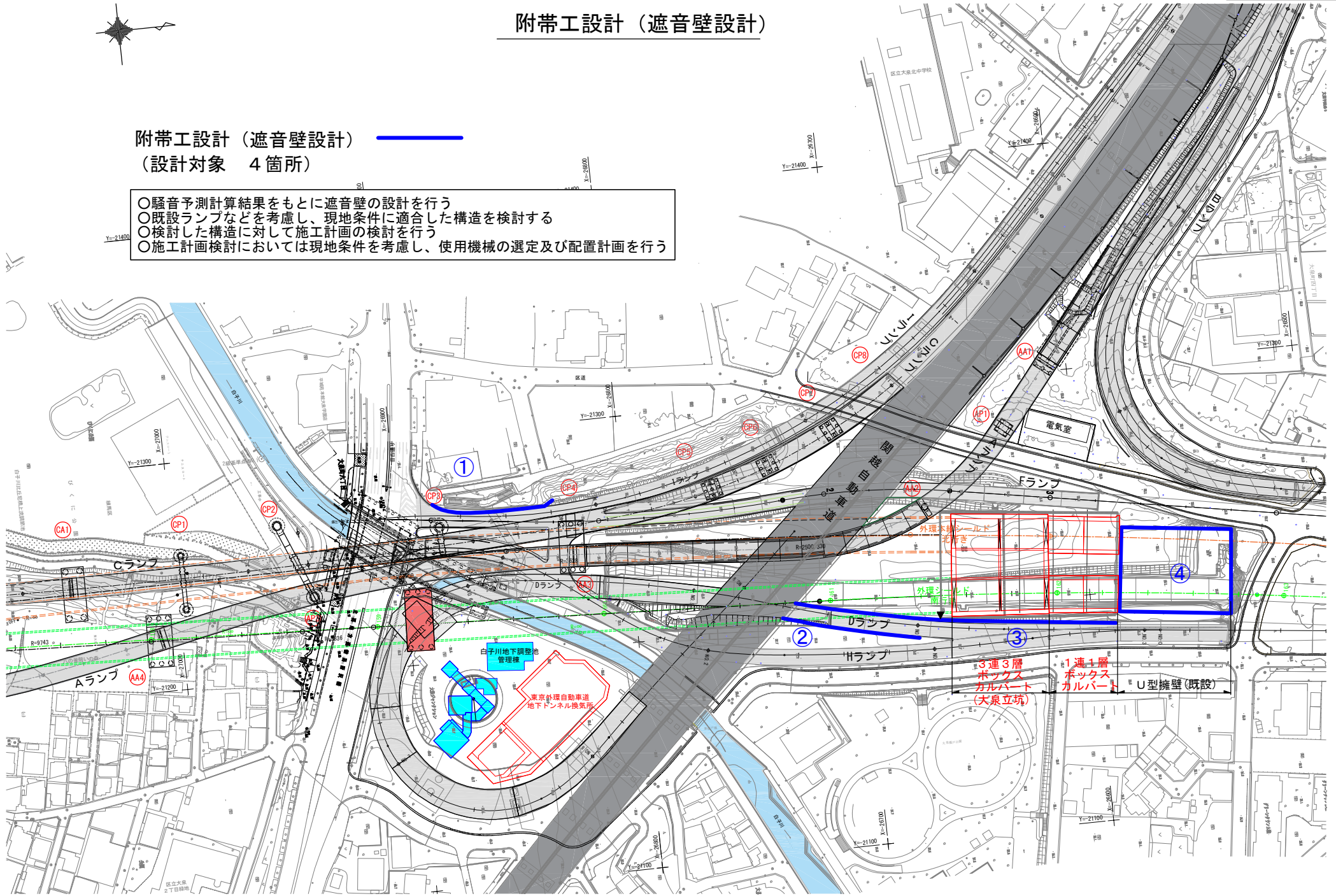


取付道路(南ゲート)と施工ヤードの高低差

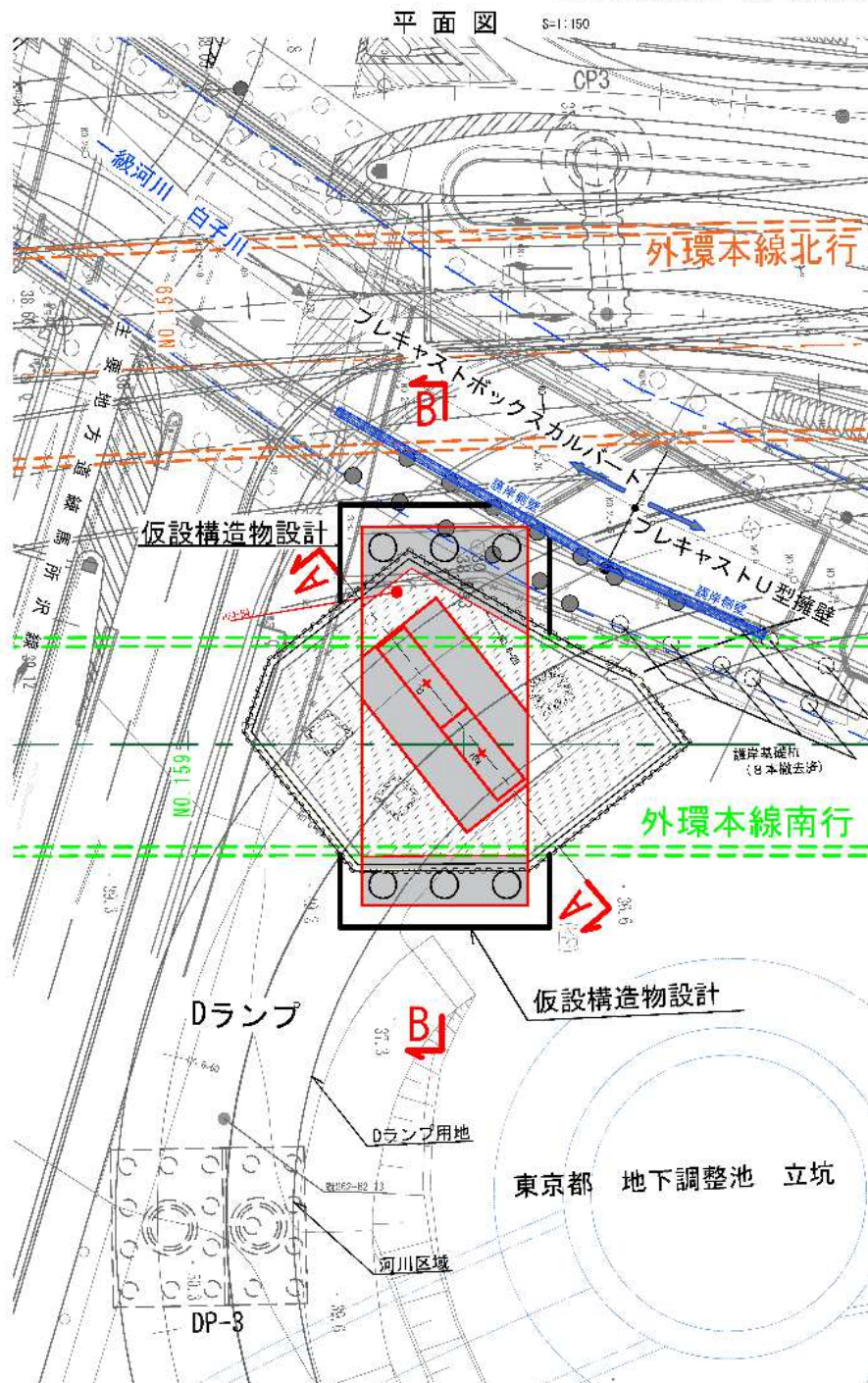
## 附帯工設計（遮音壁設計）

附帯工設計（遮音壁設計）  
（設計対象 4箇所）

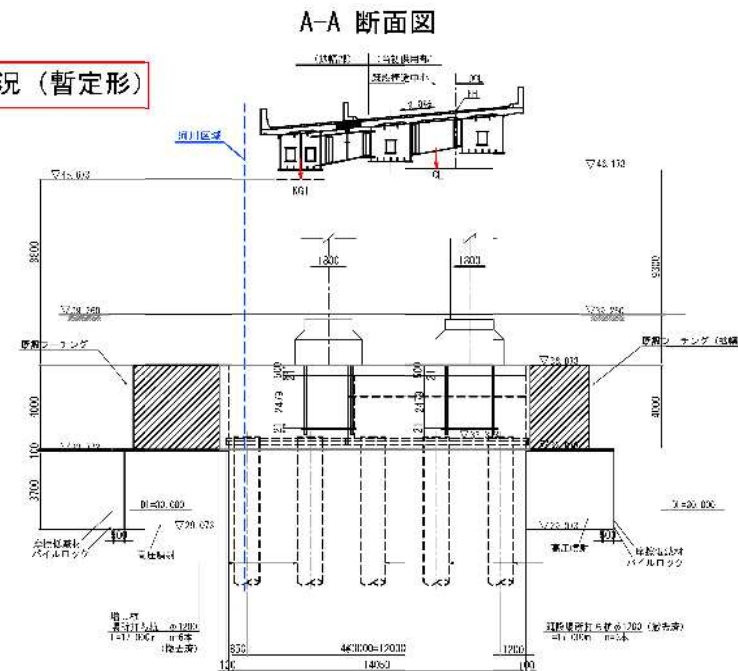
- 騒音予測計算結果をもとに遮音壁の設計を行う
- 既設ランプなどを考慮し、現地条件に適合した構造を検討する
- 検討した構造に対して施工計画の検討を行う
- 施工計画検討においては現地条件を考慮し、使用機械の選定及び配置計画を行う



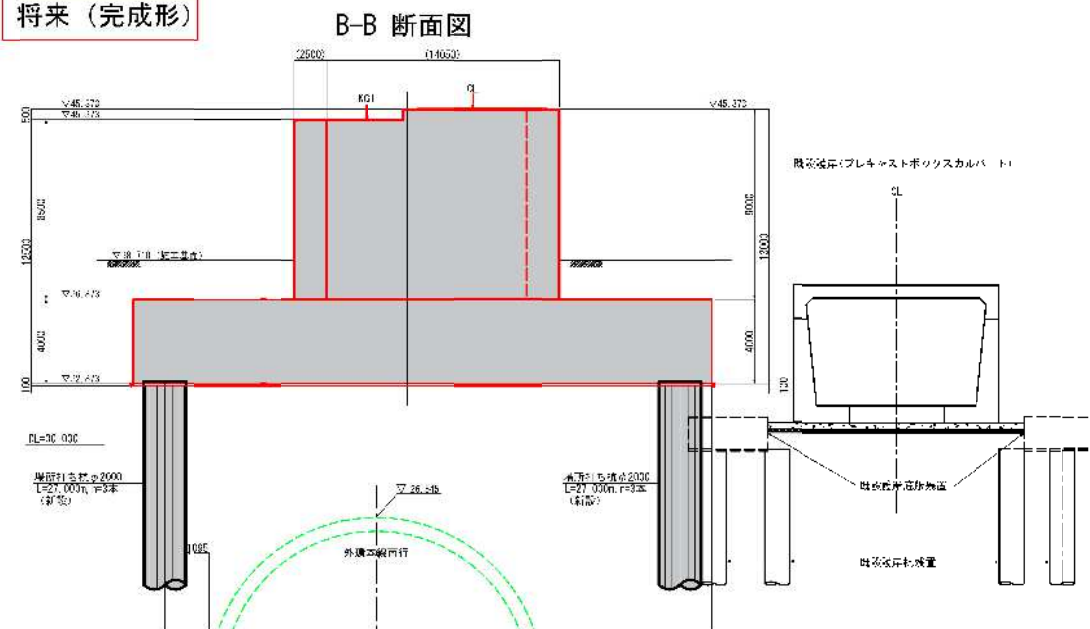




現況（暫定形）



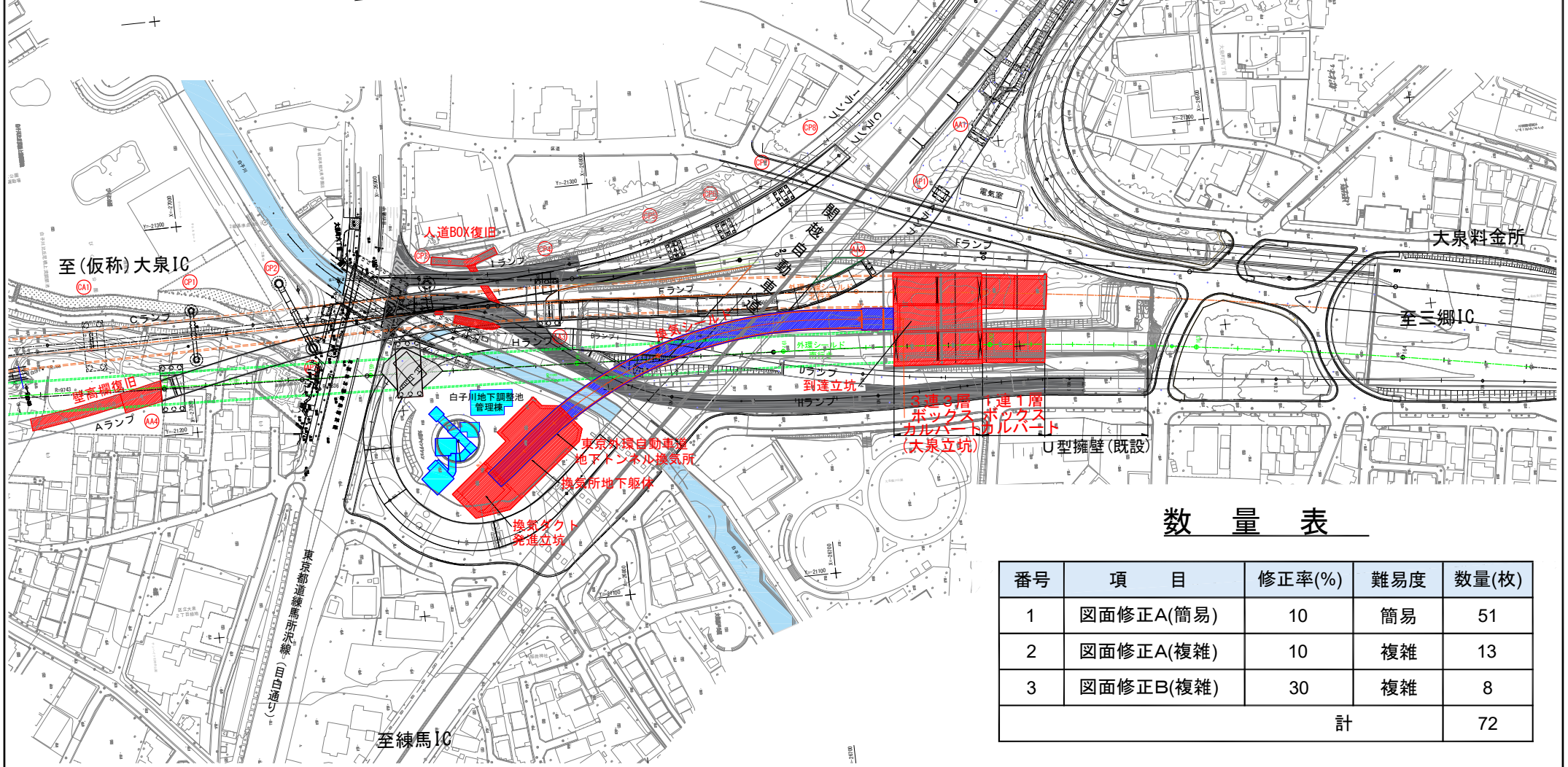
将来（完成形）





## 工事発注用図面作成及び数量表作成

- 工事発注用図面作成 ■ : 対象構造物 ■ : 対象ランプ
- 図面修正 A (簡易) : 壁高欄復旧、人道BOX復旧、ボックスカルバート (構造図)
- 図面修正 A (複雑) : ランプ平面図 (H、F・I)、地下トンネル換気所 (配筋図)
- 図面修正 B (複雑) : 換気ダクト発進立坑 (階段、中壁)
- 工事発注用数量表作成 : 換気ダクトシールドトンネル ■



数量表

番号	項目	修正率(%)	難易度	数量(枚)
1	図面修正A(簡易)	10	簡易	51
2	図面修正A(複雑)	10	複雑	13
3	図面修正B(複雑)	30	複雑	8
計				72